くにみ

【第147号】
昭和44年12月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 国見印刷所

年末年始の交通事故防止
酒飲み運転をなくそう

12月15日 ―――→ 1月14日

酒飲運転が大きな交通事故に結びつき、その悪質さ、危険さがわかりきっている今日、われわれ町民は一人残らず、この運動に参加して、一件の事故一人の違反もないよう協力しましょう。

一、運転者の自覚

(1)、酒を飲んだときは絶対に車を運転しない。

(2)、酒類が出される会合等に出席する場は、車を運転して行かない。

(3)、酒をすすめられたときは、運転するからとはっきりことわる。

(4)、飲酒したときは、ハイヤー、タクシー、知人の車などに乗り、自らハンドルを握らない。

(5)、酒飲後多少休んでも、酒はさめないことを理解する。

(6)、酒をのみたければ早く帰ってわが家でのむ。

二、運転者に酒類提供の禁止

(1)、家庭では主婦が中心となり、家族や来客などで運転する者には、酒を絶対出さないことを心掛ける。

(2)、会社、工場、事業所、官公庁などの管理者は職場内で、各種の行事、会合時に酒類を出さない。

(3)、部落会、婦人会、青年会、消防団、老人クラブなどそれぞれの地域団体は、運転者に酒をのませない申し合わせをする。

(4)、安全運転管理者、運行管理者、雇用主、経営者は飲酒運転防止のための管理をしっかりする。

(5)、運転する者に酒を提供した者の責任をきびしく追求する。

畜産功労者など表彰
第三回表彰式

十一月二十三日勤労感謝の日、国見町では表彰規程にもとずく町政功労者並びに篤行者の表彰式を行なった。この度表彰を受けたのは町会議員小林正夫さんをはじめ、農業委員、民生委員、町職員として永年に亘り精励した人々および多年部落長、納税組合長として町の行政運営に寄与した人、人命救助、産業振興等公共福祉のため貢献された人々で、その功績はまことに輝やかしいものであり、世道人心を振起させずにはおかないものとみんなから崇敬されている。

受賞者次の通り

＊議会議員一二年小林正夫

（教委二年通算）

＊農業委員一二年紺野忠蔵

＊民生委員一八年佐久間いち

＊消防部長三〇年吉田光助

同 鈴木政治

＊税務課長二〇年板橋秀雄

＊保健婦 二〇年渡辺ヨシエ

の予定になっておりますが、蕭工もおくれましたので、多少の遅延はあらかじめご了知いただきたいと思います。

以上簡単に概要を述べましたが、本町にふさわしい立派なセンターの完工を皆さまと共にお祈りいたします。

＊主事 二〇年中山弥

＊部落会長一〇年佐藤久造

同 宍戸巳吉

同 菅野正明

＊89悦組合長一〇年佐藤喜一

同 阿部武夫

同 中山己之助

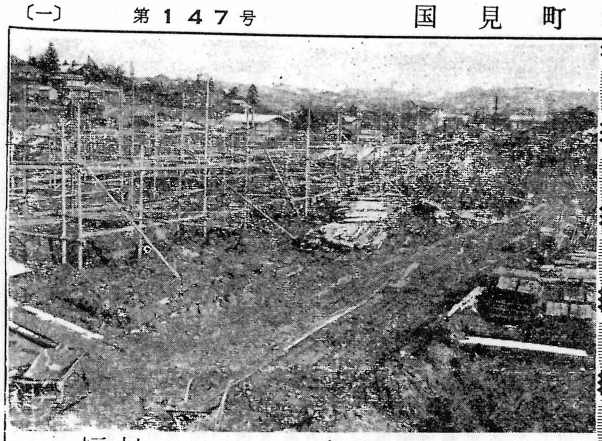
同 稲村彦三郎

＊善行者（人命救助）

半沢記郎

本年五月十四日午前九時頃観月台公園第二号溜池に過って転落入水した武田照夫氏長男照彦ちゃん（三才）を、知らせにより馳付け、身の危険をも省みず飛び込み救助した

＊畜産功労者 高橋友義



福祉センター建設について

国見町教育長 岩谷唯近 (12月4日写)

社会教育の殿堂たる公民館の建設については、久しく町民の要望するところであり、前赤井畑町長時代に、町民の要望に応えて公民館の建設に踏みきり、着々準備調査を進めてきたところであるが、目的を達成することなく途中で逝去されました。そこで現関口町長さんが前町長の遺志を継いで、早期実現のため、非常な熱意と努力を重ね、今度ようやく実現の運びに至った次第であります。次にその概要を記し、町民各位の御理解と御協力をお願い申上げます。

設計は本町出身の平木設計事務所に依頼し、去る十一月十五日入札の結果、ナ成建設株式会社が総工費五千三百万円で落札し、十一月十七日観月台公園鼎台の現地で起工式を行ない、その翌々日くい打ち基礎工事を始め、目下進工中であります。

その規模は、鉄筋二階建、総坪数約三百二十坪、室数十室、全館温風暖房付の近代的な建築であります。

（階下）

1、所長室 六坪

2、事務室 一〇〇〇

3、相談室（和室） 五〇

4、図書室 一四〇

5、調理実習室 一一、二五〇

6、老人子供室（和室）二四〇

7、用務員室六畳二室、台所風呂付

（階上）

8、大会議室ステージ付五六〇

9、中会議室 二〇〇

10、小会議室 一二〇

内部の施設については、大会議室収容人員三百人を目標に諸施設の整備を図り、便利で快適なセンターをめざしていたが、本町の事業としては、町政目下計画中であります。

本町の事業としては、町政はじまって以来の大事業で、経費からいえば県北中学校の体育館を二つ造れる程の費用で、町長さん始め関係者一同非常な苦心と努力を重ねているところでありまして、完成の暁は町民に対し昭和四十四年度事業としては最大の贈り物になると確信している次第であります。

なお、福祉センターと公民館との関係でありますが、資金繰りの関係上、一応福祉センターということになっておりますが、内部構造一切は公民館的性格を充分考慮した設計になっておりますのでご了承をいただきたいと存じます。

完工は昭和四十五年三月末日

主権者意識に立つ！
佐藤善次郎

衆議院は十二月二日に解散され、二十七日投票日に向って師走選挙となった。解散が早くから予想されただけに選挙運動は解散前から始められておった感が強い。

申すまでもなく民主主義は国民自らによる政治であり、それを実現するのが「選挙」である。この「選挙」を正しく行わなければ、明るい政治は期待すべくもない。特にこんどの選挙は、七十年代幕あけの政治への選挙である。よく見、よくきき、よく考えて悔いのない一票を投ぜられるよう念願せずにはおられない。

今度の選挙にかかげられた各政党の政策はすこぶるはっきりしている。安保問題、沖縄問題、教育問題、農政問題等いずれも確然としておってわれわれ選挙民が政党を選ぶのに甚だ都合がよい。

更に今度の総選挙は、当面する諸問題の外に、形骸化しつつある議会制民主主義に「活」を入れる重要な契機でもあるように思われる。なんといっても選挙に当って、国民の自由な意志が、何ものにもわずらわされず表明されれば議会政治は成り立たないことは何人も承知のことである。これまでの選挙運動は、政党や候補者のものであってわれわれ主権者である選挙民は、投票所に出べばそれでよいというような、どっちかといえば受身の姿であったように思われる。それが「一日だけの主権者」と呼ばれる結果ともなり、政治に空しさを感じさせ、議会は特殊政治家のものという縁遠い存在となっていく傾向にもつながるわけである。主権者の議会制に対する責任は、各政党と候補者に自由で正しい判断を下した上に、必ず投票し、選挙後も自分の選挙区からの代表を充分監視して、次の選挙の心構えをつくるものでなければならない。それが買収や供応、情実等によって選挙がなされるとするならば、いつまでたっても正しい民主主義は望むべくもない。百年河清をまつ類であろう。

こんどの選挙には、テレビの政見発表がはじめて実施されるわけである。その影響については種々論議されているようであるが、テレビ選挙によって、さらに主権者が受身になって、視聴覚的選択だけを強いられるようになれば、議会制はますます国民より離れるおそれなしとしない、われわれは絶えず政治に関心をもつことによって、明るく正しい選挙を身につけ、テレビ選挙の実施に役立たせるよう心がけねばならないと思う。

なお、自覚せぬ一票は衆愚政治につながるという人もあるが、それは主権者である選挙民が何によって主権者としての行為を表現するかを考えざるを人達の言葉である。まず一票を投ずることが主権者の権利であって一面義務でもある。この権利を放棄した人は政治上のことを云々する権利を放棄したものと看做されても仕方がなかろう。そして政治教育も投票を通じて行うのがその第一歩である。わが国見町では、昨年四月の知事選挙の投票率は八五・三三パーセント、同年七月の参議院選挙には八七・四〇パーセントという郡下第一の好成績を収めた実績がある。この実績を汚さざるよう、町民挙げて投票されるよう切望するものである。師走の多忙期と出稼ぎなどの関係から投票率の低下が心配される昨今、この点特に強調するものである。

さらに一言付け加えたいことは、この前の衆議院総選挙に際し、数々のいまわしい違反者を出し、県下にその話題を播いたことである。この事実は、いまだに記憶に新しく思い出すごとに顔のあからむのを感ずるものである。再びこんなことがあっては、なんの顔（かんばせ）あって町民にまみえようといいたい。心すべきことである。

（国見町公民館長、同明るく正しい選挙推進協議会長）

国家技能検定の研究会へどうぞ!!

目的

1、技能検定合格の秘訣

2、技能士取得申請の仕方

3、技能士資格の意義

4、各職種検定委員の注意と作業の要点とその他

日時 一月七日（土）午後一時から午後四時まで

会場 桑折町公民館

講師 1、県技能検定協会事務局長（柳沼氏）

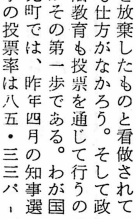
2、県労働部職業訓練課主査

3、県技能検定委員数名

会費 二〇〇円

責任者県北技能開発連絡委員 阿部善雄

以上のとおりです。関係の方は奮ってご参加ください。



多年に亘り乳用牛の導入増殖に尽力し町畜産業の進展に寄与した。

お悔み申し上げます

（十一月中に亡くなられた方 敬称略す）

死亡日	氏名	満年令	住所
〃 11	佐藤隆	七十	泉田
〃 4	池田常夫	六一	川南六十七
〃 11	三木コウ	七八	山崎
〃 11	佐藤修一	十七	沢田四の七
〃 12	佐藤千助	七八	下川前三十八
〃 24	佐藤ノブ	七一	山崎
			森山
			川内
			貝田
			西国見三十四
			沖四
			切内九

◉年賀状は、ゆとりをもって早目に書き、おそくも二十二日は出すこと。

◉宛先の郵便番号をはっきり書く。自分の番号も書く。

◉年賀はがきを差し出すとき町内、県内、その他あてに区分けし、次の付せんをつけて束ねる。

「年賀はがき町内あて」

「年賀はがき県内あて」

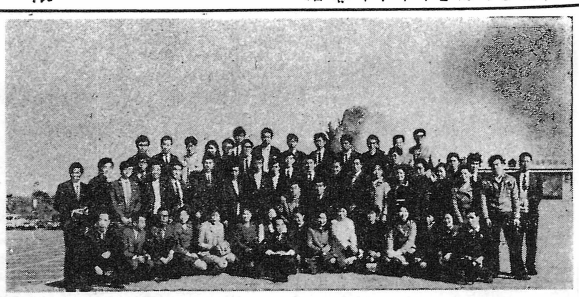
「年賀はがきその他あて」

（藤田郵便局）

年賀状についてお願い

◉選挙法 守らぬ候補はボイコット……明正選挙で明るい社会

◉健康生活・冗費節約・交通安全のために……年末 年始 の宴会など自粛しましょう



静岡に学ぶ

青年リーダー研修会の記

去る十一月の末に行われた伊達地方公民館連絡協議会主催の青年リーダー研修会にわたしたち十名参加してまいりました。

桑折六名、伊達四名、国見一〇名梁川一〇名、保原九名、霊山六名、月館七名、それに各町社会教育担当の先生方六名、合せて五十八名（男三八名、女二〇名）で静岡県御殿場市にある国立中央青年の家で四泊五日の研修をしあと二日間浜松、静岡方面の社会見学をしてきました。

二十一日の夜福島駅を出発、二十二日早朝東京築地の中央市場を見学、中央高速自動車で河口湖に行き、本栖湖、風穴、朝霧高原牧場、養鱒場、白糸の滝等を見て午後三時国立中央青年の家に到着しました。

ここは富士山の広大な裾野を利用してつくった、その名のとおり青少年の研修の場です。

猪苗代の磐梯青年の家は、研修室、体育館、宿舎、風呂食堂などみんな棟続きになっているが、ここでは全部別棟になっています。

ここは標高七〇〇メートル三七〇〇メートルの山頂から吹きおろす風は朝夕相当にきびしく、五センチぐらいの霜柱が毎朝みられます。しかし室内はスチーム暖房がよくきき、研修するにも寝起きするにもまことに快適です。

時間は殊の外きびしく、初めはみんなこたえたようですが、馴れてくるとほんとに気持ちよいものです。食事は森永食堂で一日三食で三百円、美食、大食に馴れているわれわれの胃袋にはもの足りなく大分副食費をつかったものもあるようです。

朝の起床は六時半、七時朝のつどい、七時半朝食、八時半から十二時まで研修、昼食の後一時二十分から四時半まで研修、四時四十分夕べのつどい、五時から入浴夕食、七時から八時四十分まで夜の研修、あと九時四十分まで自由時間、十時消灯、その時間帯の中に、それぞれの団体が独自の計画を立てて研修をするのです。わたくしたちは大体次のようなことについて講義をきいたり、みんなで話し合いをしたり、理論と実際を結びつけながら勉強をしました。

○わが青年団の現状と問題点（情報交換）

○青年の生き方と青年団の目的（講義）

○青年団の事業計画の立て方（講義と話し合い）

○青年リーダーのあり方（講義）

○対議法のいろいろ（講義と実技）

○レクリエーションのあり方（ゲームとスポーツの実技）

○キャンドルサービスの理論と実際（講義と実技）

○視聴覚教育（映画鑑賞）

四泊五日の宿泊研修を終ったあとは社会見学です。東名高速自動車で浜松に行き、航空自衛隊北基地、本田技研浜松工場、日本楽器浜松工場等を見学、国民宿舎館山寺荘で一泊、次の日はもどって静岡市登呂遺跡、日本平、三保の松原、清水港等を見て東京に帰り、日劇を見、また夜行列車にゆられて二十八日早朝福島駅着、駅前辰巳屋食堂で解散、各町ごとまとまってそれぞれ帰路につきました。

この研修会で、わたくしたちは多くの先生方に有益な指導を受けると共に、たくさんの友だちと話し合うことができました。そしてまた社会を広く見、自分を深く反省することができました。これからもなるべく機会をみつけて、もっと世の中を見、多くの人と話し合うために、ますます青年団活動を活発にしたいものと思います。

遠藤　正喜（鳥取）
阿部　泰蔵（石母田）
佐藤富美子（〃）
宍戸　芳子（徳江）
松浦　万助（大木戸）
志村　孝明（高城）
高橋　啓子（貝田）
鈴木　正一（川内）
鈴木　咲江（〃）
松浦　静子（西大枝）

明治学級

わが町の文化財を守ろう

≪十一月十八日≫

わが明治学級では、十一月十八日午後一時から藤田小学校で学習会を開いた。文化の月にちなみ「わが町の文化財を守ろう」というテーマをかかげ、まず鈴木主事からわが町の文化財をとおして文化財の意味やその守りかたについて説明し、ついで静岡市登呂遺跡と集まった老人たちがその活動の一つに文化財調査並びに保護の仕事をとりあげている長野県のある老人クラブの映画を鑑賞したのち四つの分科会にわかれて話し合いをした。

◉人権を守ろう

≪十二月十二日≫

十二月は人権保護の月というので「人間の権利」という題で学習することにした。福島地方法務局人権擁護課長加藤啓先生から「老人の権利、婦人の権利」についてお話をきたいあと、婦人学級生たちと町内の人権擁護委員をまじえ、昔から弱いとされてきた「婦人の人権」から近ごろ弱くなったといわれる「老人の人権」などについて具体例を挙げながら話し合った。

◉吉岡先生の話をきこう

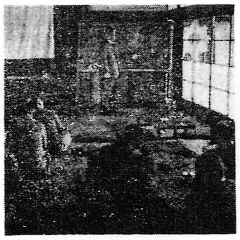
≪十二月十九日≫

十二月十九日、吉岡先生をお招きするからいっしょにきいてはどうかと誘いをかけられたので、よろこんで応ずることにする。壮年学級、婦人学級など若い人たちとの話し合いができることはまことによろこばしいことで、今後共こういう機会をつくってもらいたい。

壮年学級

吉岡先生にきく ベトナムのおはなし

壮年学級では十一月二十一日午後一時から藤田小学校で学習会を開いた。農繁期で心配された出席も、「家庭における人間関係」という切実な課題、それに講師（田村先生）の魅力にひかれてか、五十名という今ざきにめずらしい成績、映画「あとより」「妻の地位」も今回のテーマにしっくり。次回の打合せの結果、農協問題について学習しょうということにしたが、講師予定の組合長さんはじめ幹部の皆さんの都合により来春一月ゆつくり時間をかけてやることにし、十二月は別記のとおり吉岡棟一先生を招いてベトナムをめぐる諸問題についておきますることにたった。これには婦人学級も合流することになっているので、家庭での話し合いなども一段と活発になるものと思われる。



～～お知らせ～～

時……十二月十九日（金）午後一時より
所……藤田小学校
師……福島県仏教会長 吉岡 棟一先生
題……ベトナムと日本

十一月十五日　俳句会（第二回）

兼題霜　（三句）　雑詠二句

互選の結果左記のとおり

六点　落葉たく煙素直に寺の暮　一怡
四点　プルの手をしばし休めて雲流る　美一
〃　秋まつり母のない子が面を買う　栄子
〃　視野せまき吾にも霜のたよりあり　君子
三点　病妻もかくれて紅引く秋まつり　勝衛
〃　乱れさく小菊にあわれ霜の朝　君子
〃　日の出でて木陰に残す霜の筋　福太郎
〃　空しさに口を鳴らして密柑吸う　栄子
〃　門しめて夫留守の夜の霜摑む　栄子
二点　はく息の白くからまる霜の朝　たか
〃　飛ぶ鳥の影寒うして霜つよし　不明
〃　妻の日の今朝は霜踏む墓の径　灰鳥
〃　観光の中のかなしき鮭簗場　黄鶴桜
〃　紅葉の山肌低く天狗岩　蔦水
〃　孫の手のぬくもりいとし菊人形　たか

第五回町民卓球大会

十二月七日（日）県北中体育館で行われ、成績次の通り（団体戦）二チーム参加

1、藤田Bチーム
2、国見電子

（個人戦）

男子A級　十四名参加
1、羽根　幹雄
2、小野　智義
3、吉田　貞男

女子A級　二名参加
1、斎藤　裕子
2、吉田　弘子

男子B級　三名参加
1、奥山　隆夫
2、菅野　正二
3、徳江　賢一

女子B級　七名参加
1、吉田　洋子
2、菊地　美智子

男子ダブルス　参加六組
1、須田善治小野智義
2、佐久間久男羽根幹雄
3、我妻定雄吾妻悦郎

明正選挙や交通事故防止など 婦人会で申し合せる

国見町婦人会連絡協議会では十二月四日（木）午前十時から役場二本間で評議員会を開き、当面の活動方針について話し合いをしました。

開会冒頭に岩谷教育長さんから公民館建設について、これまでの経過や構想についてくわしい説明がありました。

来年五月頃には鉄筋三階建て延べ三二〇坪のりっぱな公民館が完成するときいては、わたしたちの相談にもおのずと熱がはいりました。

次に樋口消防団長さんより近頃の火災の特徴と消防団のはたらきなどをとおして婦人消防協力会の役割について説明があり、今さらながら家庭婦人の任務の重要さを認識させられました。

次は公民館の鈴木主事先生の指導助言を受けながら次の項目について話し合いました。

1、青少年の健全育成について

幼児期、児童期、青年期などいつの時代でも母親の役割は重大なので、若妻学級母親学級、家庭教育学級など婦人教育に力を入れるようにしたい。

2、明るく正しい選挙の推進について

こんどの総選挙については棄権防止と違反防止に努める。棄権防止のためには戸別訪問などによって投票総参加を呼びかけ、違反防止などを実行する

3、人権擁護思想普及のため十二月十二日（金）午後一時藤田小学校で講演会を開く。題「老人の権利、婦人の権利」講師　福島地方法務局人権擁護課長

4、体力つくり運動推進について

各自の健康検査をし、各自の体位体力に応じた鍛え方栄養のとり方を工夫実行する

5、年末年始の交通事故防止について

酒飲み運転の防止に特に力を入れる。

主婦の誓いなどをつくって各戸に配布する。

6、皇居奉仕について

家庭の事情や個人の事情を考え、最も条件のととのっている人はなるべくこの際参加するよう勧めること

おめでとうございます

（十一月中出生届をされた方　敬称略す）

出生日	氏名	親の名と続柄	住所
〃 10	佐藤由紀子	久男の長女	石母田田横町十四
〃 22	鈴木智賀子	正行の長女	北町田七の一
〃 11	松浦由美子	春男の長女	山崎
〃 1	野地真由美	ツネ子長女	北古館八
〃 7	渡辺　浩行	重勝の長男	太子堂二十二
〃 8	松浦　敏子	直一の長男	藤田　南六八
〃 9	高原　達夫	功の長女	泉田　馬場九
〃 12	中野　由明	長吉の長男	大木戸西原十五
〃 13	斎藤　広子	忠重の三男	鳥取堰下六
〃 16	鈴木真由美	誠一の長女	藤田鶏町三、三十二
〃 17	本間　正人	鉄男の長女	小坂　小坂十九
〃 17	斎藤　嘉弘	容子の長女	西大枝上台十七
〃 19	渋谷　啓子	栄司の二男	藤田　南八
〃 24	松浦　由美	西の長女	西大枝並柳二五の三
〃 26		肇の長女	光明寺土井十一
		周市の長女	大木戸中橋三の二